

2024



2

February 如月

コラーレ倶楽部通信

日本初の
テレビ放送
開始！

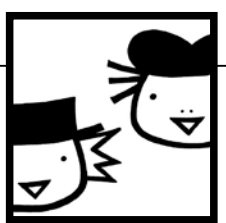


昭和二十八年
二月一日

コラーレ倶楽部通信新聞部
〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コラーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207



2月1日は
テレビ放送
記念日



「流しの美術製作隊」にオジャマ

モンゴルで生きる動物たち

コラーレ・ワールドフェスティバル「Earth Moving」が今年も3月2日・3日の2日間開催されます。「コラーレ・ラリー」もフェスティバルを盛り上げる一員となりますよ～。代表の長谷川さんにお話を伺いました。

.....

——コラーレ・ラリーが始まってから、24年目に入り、昨年には開催回数が100回を超えたそうですね！

長谷川：いつの間にかそんな年月が経っていました。始まった当時には児童だった子が、今や親世代となっていて……感慨深すぎます。自分も年齢を重ねて、老眼にもがきながら製作しております。

——ラリーは15枚のカードを探すゲームですね。今回は「モンゴル」がテーマですが、毎回どんなふうにテーマを決めているんですか？

長谷川：例えばオリンピック開催年にはそれをネタに取り上げてみたり。昨年は大河ドラマが家康だったので「徳川15代将軍」をテーマにしました。図書館でネタを探すことが多いですね。今年のラリー第1弾は「モンゴルで出会える動物たち」。Earth Movingは今年「モンゴル」を紹介するので、この国に関連したテーマになりました。Earth Movingに先んじて、1月6日から始まっています。ここ数年はEarth Movingとコラボして、その国の名物などを取り上げたラリーをしています。モンゴルには植物や料理など、ラリーのネタになるものはあったのですが、私の好みで動物に決定しました。描いていて可愛いですからねえ。オオカミ、モウコノウマ、オオハリネズミ、クロハゲワシ……砂漠や草原、山岳地帯など特有の生態系の中でたくましく生きる動物たちがけっこういるんですよ。私も調べてみるまで知りませんでした。自分でも勉強になります。

——「描く」と言いますと、ラリーカードは全て手描きですよ。

長谷川：そうなんです。デジタル社会に相反し、頑固に24年間手描き一筋。先程も申しましたように、老眼が進んでいるので焦点が合わず、最近では線がブレがちで。ラリーのキャラクター、セロリとパセリの顔も歪んでしまったり(笑)。ちょっとしたウンチクもカード1枚1枚に書いているので、そちらもチラッと読んでいただけたら幸いです。自分でいうのもナンですが、良い豆知識が書いてあるんですよ。

.....

年4回開催されるコラーレ・ラリー。毎回いろんなテーマで館内を巡る遊びが楽しめます。回答用紙を応募すると、抽選でオリジナルグッズが貰えるんです。ワールドフェスティバルとコラーレ・ラリー、是非遊びにきてくださいね！ (TEXT = P)



コラーレ・ラリー「モンゴルで出会える動物たち」

今回のテーマは「モンゴルの動物たち」！ コラーレのどこかに「動物」を紹介したカードが15枚あります。時間制限はないので、ゆっくりとコラーレを散策しながら遊ぶ「カード探しゲーム」です。セロリとパセリが案内役として、カード1枚1枚に豆知識を語っているので、それも読みながら楽しんでください。ちょっとしたウンチクが語れるようになるかもしれませんよ。

1月6日(土)～3月10日(日) / コラーレ / 参加無料

★抽選で20名に、セロリとパセリの「オリジナルグッズ(文房具など)」をプレゼント！

■問題用紙はコラーレのエントランスにおいてあります。

■コラーレの開館中、好きな時間に参加できます。

セロリとパセリがコラーレで待ってるよ！



今月のひとりごと

楽しいサルベージ・パーティ

サルベージ・パーティとは、家に余っている野菜、眠ったままになっている調味料など、使う用途のない食品を持ち寄り、皆でアイデアを出し合って美味しく変身させる食品シェアパーティーである。食品ロスが問題となっている現在、家庭からのロスを減らすための身近な取り組みである。

機会があったので私も参加してみた。ひとり1種類持ってくるのが条件だったので、私は手付かずのままのビスケットを持って行った。その日集まった品は、かぼちゃ、柿、ピーマンといった家で収穫した野菜やレトルト食品、乾麺など。15人の参加だと様々な食材が集まるものだ。当日まで何が揃うのか分からないし、限られた食材である。どのように使えば美味しくなるのか……作ってみたいと分からない。ある意味、未知のチャレンジである。

ある人はレトルトご飯を潰し、海苔を巻いてこんがり焼いたおせんべい。柿をブラウンシチューの素とトロトロになるまで煮込んだ甘口のシチュー。私はビスケットと乾麺をフードプロセッサーで粉砕し、かぼちゃや柿を具材にして焼き上げてパウンドケーキ風にした。

さて出来上がった物を皆でドキドキ、恐る恐る食べてみる。なぜだかそれが異様に美味しく感じるのだ。あっという間に完食してしまった。アイデアたっぷりの斬新料理。余った食材を探すところから食べ終わって片付けするところまで、全部が楽しいパーティーだった。また機会があればぜひ参加したい。

<これを機にストック品見直しだ>

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コラーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄って無形の情熱を有形に変えていくグループです。何を作り上げるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

アクティブグループ活動場所として、専用の部屋を無料で開放しています。ミーティングなどに、お気軽にご利用ください。興味を持ったサークルがあれば、コラーレまでご連絡ください。

コラーレ倶楽部アクティブグループ
2月の活動予定

大人のピアノサークル ドレミの会

ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼2月17日(土)・24日(土) 各日 13:00～17:00

弦楽サークル 楽屋ストリングス

ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼2月毎週(月) 各日 19:30～22:00

アコギを楽しむ会

アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼ミーティング：2月4日(日)・12日(祝) 19:00～22:00
練習：2月25日(日) 19:00～22:00

消しゴムはんこづくり ペったん

1回だけの参加も大歓迎。初心者もOK、材料費必要。
▼2月29日(木) 19:30～21:00

コラーレ倶楽部通信新聞部

この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集。
▼ミーティング：2月8日(木) 19:30～21:00

お問い合わせ：コラーレ (tel. 0765-57-1201)

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

DRUM TAO

30 周年記念新作舞台「THE TAO 夢幻響」

2023 年 11 月 3 日／コラーレ

皆さん！ DRUMTAO をご存知でしょうか？ 太鼓といってもトンとこトンのお祭りのような太鼓ではないんです。色々な大きさの太鼓や自分の目線よりも高い位置に置かれた大太鼓や箏、篠笛、三味線、幅広い和楽器を使い、「これはシルクドソレイユか!？」と言うくらいのパフォーマンス。鍛え抜かれた体は最高にカッコ良く、何よりも楽しそうに演奏している演者の笑顔が素敵な和太鼓集団です。その TAO が 7 年振りでコラーレに帰ってきました。

オープニングは巨大スクリーンに今までの TAO の活動や阿蘇くじゅう国立公園の TAO の丘の美しい映像が……その巨大スクリーンがスーッと移動し 6 枚になり、あっと言う間にセットの一部に。後ろから尺八のソロが始まり、左右から太鼓を演奏しながら入ってくるメンバー。歌舞伎役の二人が拍子木でタイミングをわざとずらして、なかなか音が合わない演出をして会場を盛り上げます。ホール内がふわりと明るくなり、左右の扉から太鼓を演奏しながらホール内を降りて来るメンバーは近くに来たメンバーとハイタッチ!! 楽しくて嬉しくなる曲が続き、バック転や複雑な振り付けに目が釘付け。そして暗闇から浮かび上がる着流しの 5 人による扇子パフォーマンス。縦 1 列に並び、1 番前の人が前を見たままで扇子を投げ、一番後ろの人がキャッチして大歓声が上がりました。

6 枚の液晶パネルに TAO の丘が映し出され、空気感が変わりました。演奏しながら登場したメンバーが今度は中央に横 1 列になり、それぞれ隣の太鼓を電光石火の如く超高速で叩く super beat!! 決めポーズのドヤ顔に会場は最高潮に。顔を歪めながらも鍛え抜かれた体で腹筋しながら太鼓を叩き、それを囃し立てる他のメンバー。

アンコールでは紙吹雪が舞い、休憩なしの 95 分がアツという間に終わりました。迫力が半端ない想像以上の公演でした。盛り上がっている私たちは帰り際、推しのメンバーのタペストリー前で写真を撮り、最幸な時間を過ごしました。

< RAWLAND / 女性 >

パフォーミングアーツのエントランス

木場大輔（胡弓）＆日原暢子（箏）

2023 年 12 月 9 日／コラーレ

コラーレのマルチホールで、「胡弓と箏」和の弦楽器の共演によるコンサートが開催されました。「パフォーミングアーツのエントランス」は奏者によるレクチャーやドリンク付きのコンサートで、会場に飾られた花や草木も華を添えていました。

第 1 部、まずは胡弓奏者の木場大輔さんがステージの袖から富山県民謡の『越中おわら節』を奏でながら登場しました。木場さんは「富山は麦屋節やせり込み蝶六等、胡弓を使う民謡が多く、耳の肥えたお客さんで緊張する」と話されました。宮城道雄作曲の『春の海』では尺八のパートが胡弓で奏でられ、弓を通常の弓から長い物に持ち替えての演奏でした。弓はヴァイオリンと同様で、馬の尻尾の毛から作られているとのこと。キリッとした箏の音色に、緩く張られた弓で擦られた胡弓のやわらかい音色が乗り、素敵でした。日原暢子さんの箏による独奏もありました。宮城道雄作曲の『手事』という曲で、古典の練習曲とのことでしたが、とても超絶技巧で奏者の手元に釘付けになりました。第 1 部の最後の曲は、吉沢検校作曲の胡弓と箏の代表曲でもある『千鳥の曲』でした。愁のある胡弓の音色と箏を爪弾きながらの日原さんの歌声が素敵でした。

第 2 部では、木場さんの編曲による岐阜県民謡の『郡上組曲』から始まりました。『ミッション・インポッシブルのテーマ』では胡弓を 3 弦から 4 弦の新しい胡弓に持ち替え、箏は二十五弦箏を使用しての演奏でした。古典から洋楽まで、和楽器演奏の選曲の幅の広さに感心しました。最後の曲は木場さん作曲の『焰』という曲でした。小さい炎が大きくなり、やがて昇華していく様を表現した幻想的な曲でした。アンコールは『こぎりこ節』と『ビリーヴ』が演奏され、客席から歌を口ずさむ声も聞かれました。

生音を体感する素晴らしいさを感じながら、有意義な時間を過ごすことができた素敵なコンサートでした。

< ヒスイの森 / 50 代女性 >



ある日の「卑弥呼くろべ」

ボランティアサークル「卑弥呼くろべ」が
とある日の活動をご報告します♪



12 月 9 日(土)、パフォーミングアーツのエントランスでは、野の花で会場のコーディネトを行いました。マルチホールの入口、ステージ横や客席の丸テーブル 10 個を飾りました。



12 月 28 日(木)は恒例の門松作りでした。黒部市内のどこよりも立派な太くて長い竹が用意され、そのまわりに梅、真っ赤な実をたくさん付けた南天、笹などを入れていきます。



この日は総勢 7 名が参加。暖かな日差しの下、わいわいがやがやと手も口もフル回転です。ふんだんに入った真っ赤な南天で華やぎを際立たせた門松が皆様をお迎えしています。



新聞部からのおてがみ

さて皆さん、もう 2 月の声。日が経つって本当に早いですね。あれもやらなきゃ、これも……。そんなに慌てなくてもいいんですよ。人生ゆるゆるとゆとりを持って元気を蓄えることもとても大切です。ここぞという時のえいやっ！っていう元気の元になりますよね。

今月の特集は「流しの美術製作隊」。コラーレでは今、「モンゴルの動物たち」を紹介するセロリとパセリが、ゆっくりゆくりと皆さんに元気の素をいっぱい注いでくれます。モンゴルってどんな動物がいるんでしょうね？ 興味わくわくです。可愛い動物たちに沢山出会えるかも！

< 正 >



投稿記事募集中

【こんなン観てきました】

コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はコラーレ以外でも OK。1,000 字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

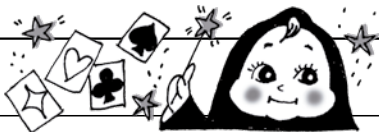
【気ままになんでも写真館】

あなたが撮った写真を送ってください。「畑でできた大きな大根を見て」「我が家のペットです」等、何でも OK！コメントは 120 字程度で。

【わたしの旅行記】

国内、海外問わず、旅行体験を 1,000 字程度で書いてください。

プリンセスQP ズバリ占う！あなたの2月の運勢



【1 月生】一度立ち止まり行動を振り返るとよい星回り。恋愛は楽しめ吉。金運低調。仕事は協力関係を深め解決策を。
【2 月生】未知の領域に挑戦、自分の成長を実感する星回り。恋愛は新しい恋愛へ。金運好調。仕事は着想が評価され吉。
【3 月生】これまでの学びが実る星回り。恋愛は気持ちを素直に伝え、絆が強まり吉。金運良好。仕事は努力が報われ吉。
【4 月生】長い間の取り組みが形となる星回り。恋愛はタイミングを逃さないで。金運好調。仕事は職場の環境が変わる。
【5 月生】期待外れの結果にガッカリする星回り。恋愛は心を再確認せよ。金運高額な買物注意。仕事は戦略見直しで吉。
【6 月生】前向きに人と接する事が大切な星回り。恋愛は新しい出会いあり。金運平穩。仕事は人間関係構築に努力せよ。

※恋愛運は愛情運の一部です。恋愛運が絶好調なら愛情運も凄く良いと思ってください。老若男女、既婚の方も楽しみください。

編集後記

- ある日見かけた通販サイト。私の目を釘付けにした物、それは半纏。とても素敵な生地で作られており、可愛い～と一目ぼれして即購入した。実際届いたのは、やっぱり可愛くて、分厚い綿があったかい。お気に入りです。 < 月がふたつ >
- 2024 年の幕開けが能登半島地震だと誰が想像したでしょう。阪神淡路大震災、東日本大震災、今回の能登半島地震。そして、ここにはいつも懸命に救助に当たる自衛隊、消防、警察、ボランティアの人々が。過酷な救助復興活動の中、被災者に寄り添う姿にありがとう！ < 日本の支え合う力は本物 >
- 気候変動で、今年の夏もまた酷暑になるのだろうか。この冬の冷気を何処に溜めておくことはできないのかと、寒い我が家に居て思う。若い才能がいずれそんな妄想を実現してくれないかなー。 < パペポ >
- 200 字でまとめられた物語（超短編小説）というのがあるそうだ。この編集後記は 100 字程度である。200 字で物語を紡ぐには、200 字以上で書いて余計なものを削り取って仕上げるのだそうだが、よく物語が完結できるものだと思ってしまう。 < 布袋 >
- 今年は花粉がいっぱい飛ばしい、それも 2 月から。毎年このことで諦めがついているといってもやはり天気予報で飛散日というのを見つけると、それこそ大悲惨日になってしまう。気が重くて、今から涙が止まらない。 < 涙、せめて並み並みだ一位に >
- 初詣に向かうと、長蛇の列が出来ていたので車の中へ引き返したら、左右に車が揺れるほどの大地震が発生。東日本大震災の突き上がるものと違うが、相当の揺れを感じました。被災地の一刻も早い復旧を心よりお祈りします。 < どころ >